

「平成20年度専攻科研究論文」第12回公開発表会

開催にあたって

高等専門学校は中学校を卒業して、子供から大人へと成長する最も伸び盛りの5年間に、周到に準備された教育プログラムに沿って創造力豊かな高度専門技術者を養成する、世界的にも類のない優れた高等教育機関です。

高専の特色としては

- 中学校卒業後の早い年齢段階からの5年間の一貫した高度専門教育
 - 理論的な基礎の上に立っての実験・実習・実技を重視した実践的な技術者教育
 - 少人数クラス編成や教授、準教授など教育陣によるきめ細かな教育・生活指導
 - 受験戦争に無縁な伸びやかな教育と年齢差がある集団での自主活発な課外活動
 - 不況時でも就職希望者の10倍を超える求人倍率と、ほぼ100%の就職率
 - 卒業生の半数近くが高専専攻科や大学学部3年生に進む高い進学率
- などを挙げることができます。

平成18年5月、八つの大学、高専を訪問したOECDの調査団が「グローバル水準からみても高専の教育はレベルが高く、カリキュラム、教育方法、教員の情熱全てが揃っている。技術者養成機関として他国に例のないユニークなもので、他のOECD加盟国も学ぶべきものがある」と述べたように国際的にも高い評価を受けています。

北九州高専も昭和40年設立以来、5千名を超える優秀な人材を輩出してきました。この間、科学技術が我が国の明日を託せる唯一の有力手段であることが再確認され、高専に対しても、さらに高度な技術開発能力を備えた人材の育成が求められて、本校にも平成8年、生産工学専攻、制御工学専攻、化学工学専攻（現在、物質化学工学専攻）の三専攻からなる2年制の専攻科が設置されました。

5年間の本科の教育を基礎コースとするならば、専攻科は応用コースと言うべきもので、本科のクラス一斉のお仕着せ教育が主体であるのに対して、学生一人ひとりが自ら問題を発掘し、知恵と情報を総動員して自力で独自の解決策を見出すという高度専門技術者に必要不可欠な能力の涵養に主眼が置かれています。専攻科で2年間にわたって取り組む「特別研究」はその集大成と言えます。

この「特別研究」の発表会は本校の教育研究内容や、教員・学生及び施設設備など本校が持つ資産を知っていただく良い機会でもあります。

平成16年全国55校の国立高専が一つの独立行政法人となり、大学と同じく高等教育機関の一員として、従来の学生教育に加えて、教育研究活動を通じた地域社会への貢献も業務として明文化されました。北九州高専も学生教育だけに留まらず、地域社会にも貢献できる“開かれた高専”を目指して鋭意努力を続けております。

「ものづくり」が伝統的に得意で、実践的・高度技術者を目指す専攻科の学生にとって、地域社会や産業界に密着したテーマは非常に魅力的であり、研究の動機付けや教育効果の面からも極めて効果的です。さらに地域社会や産業界の方々の率直なご意見やご助言は、学生のみならず、教職員にとっても非常に貴重なものとなります。

ご多用中とは存じますが、是非御参加頂き、学生や教員の励みや成長に繋がる忌憚りの無いご意見やご提言を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年1月
北九州工業高等専門学校
校長 陣内 靖介